

◆ 平成29年度活動報告シート ◆

団体名：NPO 法人 一二三富の会

20A-31

代表者：代表理事 浜端英男

URL : <http://hifumitominokai.wix.com/hifumitominokai>

1. 活動が必要とされた状況

坂戸市では、宅地開発や区画整理のために貴重な樹林地の伐採が進み街の緑は急激に減少している。この現況を憂慮し当団体は既存緑地の保全と緑のまちづくりをモットーにして活動している。その中で心ある平地林所有者から放置状態の桧林0.6haを市民のために活用して欲しいとの意向を受け、「市民の森」の位置付けにおいて当団体がその整備事業を引き受けて実施している。この整備事業はH26年度に着手し今年度が4年目である。

2. 活動の内容（実施時期、参加人数、活動内容など）

本年度は、整備の進んだ森を市民に公開することを目標にして、下草刈込、桧の間伐、間伐材利用の施設製作、林相改良のための植樹などを主体として整備作業を実施した。

- ① 活動日数：整備作業は29年4月16日～30年2月12日までに28日回実施した。
- ② 参加員数：参加延員数は260人であり1回当たりの平均参加者は9.3人に相当する。
- ③ 主な作業内容

- ・ 林間の刈込：年間を通じ雑草木の刈込作業を実施した。
- ・ 桧間伐：空間整備のため年間で32本の桧を伐採した。
- ・ 伐採材活用：伐採桧の幹は半割など製材処理を行い、林間休憩所用のベンチ、テーブルとして活用した。
- ・ 伐採材のチップ化：残る伐採材はマシンを用いてチップ化し遊歩道整備の敷き込み材とした。
- ・ 植樹：間伐による空間整備を踏まえ林相改良のため落葉広葉樹のコナラ、モミジなど25本の植樹を行った。

- ④ イベント開催：「安全、安心な自然豊かな森」づくりを目指してきた4年間の成果を公開するため、林間の遊びを楽しむ「森のプレーパーク」を開催（11/25）した。



林相改良を目指す落葉広葉樹の植樹



伐採材を活用したテーブル・ベンチの製作

3. 活動の成果

11/25に開催した「森のプレーパーク」において、その内容とともに森の環境についても参加者から好評を得たことは大きな成果である。一方で坂戸市に申請していた“市民の森”としての認定も今年度中に実現する見通しとなり、この機に森の名称も「にっさい堀込の森」に正式決定した。



11/25 イベント・プレーパークを開催

4. 今後に残された課題

- ① 既存の整備用地0.6ha（1号地）については、更に桧の間伐、広葉樹の植樹、休憩施設の整備を継続し、より快適で利用度を高めた市民の森空間をつくり出すこと。
- ② 29~30年度に新たに整備区域に取込む隣接荒地800㎡（2,3号地）についても、既存1号地と同等の位置付けで残存切株の除去を含めた空間整備を進めること。